

別紙

1 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

方 針	
推進体制	

2 温室効果ガスの排出の状況

(1) 排出実績

(単位: t-CO₂)

排出年度	CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	NF ₃	合計〔A〕
H28(2016)年度 〔前計画の基準年度〕								
H29(2017)年度								
H30(2018)年度								
R1(2019)年度 〔本計画の基準年度〕								

※今年度はじめて計画を提出する場合は、最下段の排出量のみを記載

(2) とちぎカーボンオフセット制度による認定量

(単位: t-CO₂)

認定年度	認定量	合計〔A〕－認定量
H28(2016)年度		
H29(2017)年度		
H30(2018)年度		
R1(2019)年度		

※とちぎカーボンオフセット制度に基づく認定量がある場合に記載

(3) 基準年度における燃料等及び電気の使用量

燃料及び熱（原油換算）	電 気
kl	kWh

3 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標及び措置

(1) 排出の抑制に係る目標

(単位：t-CO₂)

基準年度の総排出量 〔R1(2019)年度排出量合計〕	目標年度の目標総排出量 〔R4(2022)年度の目標値〕	削減率(%)

$$\text{※削減率(}\%) = \frac{([\text{基準年度の総排出量}] - [\text{目標年度の目標総排出量}])}{[\text{基準年度の総排出量}]} \times 100$$

(2) 前回の計画における目標の達成状況及び今回の計画における目標設定の考え方

達成状況	達成 ・ 未達成 〔前回目標： 〕
要因分析及び今回計画における目標設定の考え方	(前回計画における目標達成に係る要因、今回計画における目標設定の考え方を記載)

(3) 排出の抑制に係る措置

措置の内容	措置の区分	期待効果・削減目標など

※「措置の区分」には、措置の内容を以下の表に照らして、該当する①～⑦の番号を記載

※「期待効果・削減目標」には、期待される効果又は目標とする燃料等の削減量(原油換算でOKI/年削減、重油使用量・電気使用量・ガソリン使用量を○%削減など)を記載

措置の区分	措置の例
① 再エネ設備の導入	再生可能エネルギーを活用した設備・機器への更新や導入など
② 省エネ設備の導入	排熱利用、省エネルギー型設備・機器への更新や導入など
③ エネルギーの転換	重油からLNGへの転換など
④ 設備・機器の改造	配管の断熱化、ポンプ・コンプレッサーのインバーター化など
⑤ 生産工程の見直し	製造工程の改善(運転台数の見直しなど)、歩留まり改善など
⑥ 管理・運用方法の改善	設備の調整や適正管理、配管の漏れ等の特定・修理、節電など
⑦ その他	次世代自動車への更新・導入(ガソリン使用量削減) 冷却水の循環利用、蛇口への節水コマ設置(水道使用量削減) 生産工程見直しによる廃棄物発生量の削減(廃棄物排出量削減) 製造副産物の再生利用化、分別収集の徹底(リサイクル率向上)